

新教授就任

順不同



教授就任にあたって

「考える臨床検査技師」の育成に向けて

藤田保健衛生大学衛生学部衛生技術学科(臨床病理学)教授 畑 忠善 (医学部七回生)



この度、平成十九年四月一日付で藤田保健衛生大学衛生学部衛生技術学科(臨床病理学)教授に昇任させて頂きました。ご推薦、ご承認頂きました衛生学部(現名衛生学部)の渡部良先生(現名衛生学部)の基で、基礎からベッ、をベッドサイドとクリニックに誠心誠意努力する所存です。今後とも諸先輩をはじめ、先生に厚く御礼申し上げます。この経、願ひ申し上げます。

「公平性」と「透明性」で学生の育成を実現

名古屋国立大学看護学部(衛生学部衛生看護学科八回生) 山田紀代美



初めて親を離れ、人暮らしを始めた頃、地名にできることとは何である、自分たな学問の探求、恩師の教、友、友人との出会い等、それ、日々努力する所存である。今後、藤田学園同窓会、および同級生の皆様の温かいご支援、ご協力を節にお、願ひする次第である。最後に、藤田学園同窓会、の益々の発展を祈念すると、ともに、会報「あけぼの」に掲載の機会を頂きましたこと、心より感謝申し上げます。研究科長、事務職員、他の研究、方々の協力もあり、何と

ご無沙汰です！ “全人的医療”に情熱を持って



藤田学園同窓生の皆様、十五年以上ご無沙汰しております。お元気でしょうか？

今春より埼玉医科大学医学部教授に就任し、埼玉医科大学国際医療センター(四月一日開院)のリハビリテーション科診療部長に就任しました。本センターは埼玉医科大学の第三番目の大学病院(兼、キャンパス)として、心臓病センター、救命救急センター、がんセンターの三センターから成り、各々で最先端の医療を行っていく活動を展開してまいります。さて、私は昭和六一年に本医学部を卒業後、故郷

京都大学教授就任に際して 「人との繋がりを大切にしたい研究、教育」

医学研究科人間健康科学系専攻基礎生体病態情報解析学講座教授 (衛生学部衛生技術学科十二回生) 京都大学大学院 齊藤邦明



このたび、京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻基礎生体病態情報解析学講座教授に就任いたしました。ご挨拶させていただきます。この間、ミエから上席研究員として二回招聘され、プロテオミクスに関するプロジェクトのリーダーとして多くの研究者と親交を深めています。頂いたことは私にとって大変な財産であります。現在の私があるのは、良く、藤田保健衛生大学大学院(衛生学部衛生看護学科)と同時に学位を頂戴し、その後の約五年間の米国国立衛生研究所(NIH)でのエイズ脳症に関する研究に携わりました。日本に帰国し岐阜大学医学部に助手として採用され、感謝申し上げます。私は、自分のライフワークである、近年のゲノム学などの質の高い学術雑誌でも取り

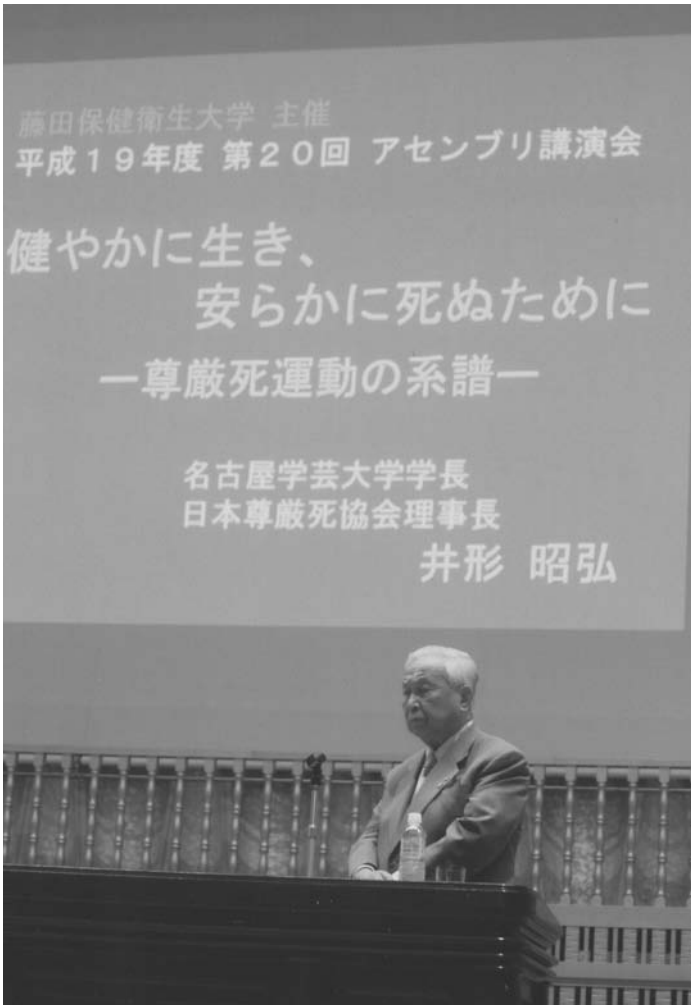
埼玉医科大学医学部教授
埼玉医科大学国際医療センター
リハビリテーション科診療部長
(医学部九回生)

前島伸一郎

アセンブリ講演

第20回「健やかに生き、安らかに死ぬために
— 尊厳死運動の系譜 —」(七月九日)
第21回「輝いて生きる」(十月十五日)

本年七月九日(月曜日)、死に至る過程を選ぶ権利を第二〇回アセンブリ講演会(自決権)あり、死ぬ権利(自決権)を以ては、この点で日本尊厳死協会理事長を務める井形昭弘先生を迎え、フジテレビ二〇〇〇年、死と根元的に異なる「健やかに生き、安らかに死ぬために」尊厳死運動の系譜、その理解と共感が高まりつつあるのが現状であり、今後は尊厳死法制定の議論も進捗すると思われる。



高田保健衛生大学 主催
平成19年度 第20回 アセンブリ講演会
健やかに生き、安らかに死ぬために
— 尊厳死運動の系譜 —
名古屋学芸大学学長
日本尊厳死協会理事長
井形 昭弘

井形先生は、一九八八年に浜松市で生まれ、東京大学医学部を卒業し神経内科に在籍中で九六歳にして第一線の臨床医として活躍中の聖路加国際病院理事長の井形昭弘先生を迎え、十月五日(月曜日)午後三時から本学(自由閣)で開催された。講演題名は「輝いて生きる」。講演内容は、人生は誰でも重光章等を受賞された。講演では、欧米を遙かに上回る早さで高度高齢社会の到来を迎えたわが国において、「尊厳死」の諸問題が示唆に富む豊富な具体例に則して語られた。その要点は、人は誰でも「輝いて生きる」のあたりに、本学学生・教職員および市民は深い感情を有するところにある。つまり、「尊厳死」とは自然な死を求める権利。

いこいの広場コンサートのこと、 そして藤田学園同窓会に感謝！

音楽療法教授 松田真谷子



松田真谷子研究室では、平成十六年四月より藤田保健衛生大学病院一階ロビーで、毎月二回土曜日の午後、いこいの広場コンサートを開催しています。対象は入院患者、外来患者、患者家族、一般市民、音楽を中心とした内容のプログラムで、お喋りつき、サロンコンサート風の催しです。舞台で行われるプログラムは多岐にわたっており、多彩です。演奏者として舞

順不同

生涯教育研修センター 一 号館完成



藤田保健衛生大学医学部（七回生）
平成十九年度七八（ななはち）会を開催す

東春病院
(医学部七回生)
齋藤隆司

四年以来毎年欠かさず開催
導をし活躍
している同
加者は六人で、卒業後
傑の話を聞
三年も経ちますがこの様に
けで大変頼
多数の同僚が集まってく
れ、もしく感
ます。会に先立ち昨年九月
ました。ま
不幸にも急逝した麻酔科
た地域医療
駐津教授・故榎原洋子さん
に貢献して
に黙祷を捧げ、謹んでご冥
逆風の医療
福を祈りました。

その後の宴会では旧知と
情勢の中、
の再会を喜び合い、各々の
通常の診察
の他に往診
近況報告をしながら気が置
訪問医療、
ない仲間たち（福島県
早期診療、
葉、広島、福岡等）から遠
医師会活動
路遠征参加された同僚もお
などを精力
います。）と勝手なことを
的に実践し
話、噂々囁々とした雰囲気
ている者が
の中間は過ぎいきまし
多くいまし
た。

頭髮の量や体型のくす
た。
れ、皮膚の張りなどに変化
近況報告

FUJITA FESTIVAL
○七を振り返って

○七を振り返って
 FUJITA FESTIVAL Ⅱ ○を
 FUJITA FESTIVAL Ⅲ
 七に参加した学生諸子
 は是非とも認識して頂き
 たいと願っております。更
 十月二十九日(平成二
 度)学園祭にかけての滑走
 始まっていることをお忘
 れなく。

運営委員長
 藤田保健衛生大学学生部長
 太田 明

の学友会とのしるしは、よく見ると一学生、教職員、市民の方々の参加によって、大盛況にたつた。若き故に様々な問題を抱えながら、イベントをより改善して、どなたでも十分に楽しんでいたという。

衛生学部主幹の実行委員会（衛生学部にしよう）といふか。

昨年からメインステージ

に認め合い、約八か月というかなり長時間と努力を費やしてきた。それに比べてしたように、今年の学園祭は僕が三年間できた二学園祭の中でも、特別な盛り上がりをみせたと感じております。また、藤田保健衛生大学の学園祭は、医学という最大限に生かす、特色を学ぶ一般の方々で

平成十九年十月十六日の
前夜祭に始まり、二百と
二八日の二日間、FUJITA
FESTIVAL II 七が開催
されました。FUJITA
FESTIVAL II 七実行委
員会主催の川嶋あづにサ
ーなどのプロジェクトに
多くの学生、教職員、市民
の方々が参加し、大盛会
のうちに無難に終了出来
ました。秋空に恵まれた
二日目を
天候に左右されましたが

学園祭のさながら飛躍に
期待を

衛生学部学生指導委員
岡西哲夫

平成十九年度学園
（FUJITA FESTIVAL II）

[illegible]

す。そして、このように大きな人ホールから総合藤きないイベントは、縁の下のグラウンド内に迅速に移力持ち」の方々の協力が有つてこそ成就されることとして、学部・学校を超え

山
動

「学園祭を終えて」
FUIJITA FESTIVAL I

わねた実行委員会では、皆副実行委員長 医学部三年
がなんとても学園祭を盛 長坂 遥
り上げていきたいという熱 副実行委員長 看護専門学校
意から、時にぶつかり合い、 校二年 森田 正明



問い合わせ先: 藤田保健衛生大学 広報部 〒470-1192 愛知県豊明市杏樹町田楽ヶ窪1-98
TEL 0562-93-2490 FAX 0562-93-4597 URL <http://www.fujita-hu.ac.jp>